

JOURNAL

2022 January - April

特集 日法のいま、これから。

vol. 33

いまを支える日法のサポート
 みんなのいま、これから。
 オンライン・オフライン、これから。
 支えるいま、これから。
 わたしたちのリアル オンライン就職活動
 いま、この時の課外活動

日法の教員力
 貴重な図書館蔵書の数々



JOURNAL vol.33 特集 日法のいま、これから。 NICHIHO NEWS '22 Jan. to Apr.

日本大学法学部 Event Schedule

2022.1 → 04

| | 就職指導課 | 教務課 | 学生課 | 研究事務課 |
|----|-----------------------|---|----------------------|------------------------------------|
| | | 図書館事務課 | 入学センター | 庶務課 |
| 01 | 期間中 随時開催 | 相談員による個別相談 | 1月13日(木)～ 3月9日(水) | 西洋法制史コレクションの調査と保存展 |
| | 1月13日(木) | 法学部生のための就活準備総チェック講座 | 1月14日(金)～ 28日(金) | 令和4年度転部(第一部・第二部間)・ 転科選考Web 出願期間 |
| | 1月24日(月)・ 28日(金) | SPI3受検会 | 1月19日(水)・ 20日(木) | 補講日 |
| | 1月25日(火)・ 27日(木) | 筆記試験対策講座 | | |
| | 1月29日(土) | 法学部就活セミナー(校友会共催) | | |
| 02 | 2月9日(水)・ 26日(土) | 合同企業オンラインセミナー | 2月7日(月) | 4年次生成績発表 ※WEBにて発表。 |
| | 2月14日(月)～ 17日(木) | 業界別個人模擬面接 | 2月12日(土) | 令和3年度第3回定期無料法律相談会 |
| | 2月21日(月)～ 3月8日(火) | 企業研究セミナー | 2月15日(火)・ 16日(水) | 後学期末再評価期間(4年次生) |
| | 2月21日(月)～ 2月25日(金) | 就職用証明写真撮影会 | 2月下旬 | 法学部ヨーロッパ研修旅行(中止) |
| | | | 2月25日(金) | 1～3年次生成績発表 ※WEBにて発表。 |
| 03 | 3月1日(火) | 日本大学 合同企業研究会・就職セミナー (全学部合同) | 3月18日(金) | 令和4年度転部(第一部・第二部間)・転科選考合格発表 |
| | | | 3月19日(土) | 付属高等学校等生徒対象オープンキャンパス |
| | | | 3月25日(金) | 日本大学卒業式・学位記伝達 |
| 04 | 4月上旬 | キャリアプランガイダンス | 4月1日(金) | 開講式 |
| | 4月上旬～ 4月下旬 | 課外講座説明会 (公務員講座、教員講座、 法律分野講座、会計分野講座、 情報分野講座、就職対策講座) | 4月1日(金) 7日(木) | 新入生ガイダンス |
| | | | 4月4日(月)～ 7日(木) | 学生定期健康診断 ※全学生が必ず受診すること |
| | 4月下旬 | 公務員業務説明会 | 4月8日(金) | 入学式 |
| | | | 4月11日(月) | 令和4年度前学期 授業開始 |

随時開催

内定者による就職支援プログラム
 就職指導課員による特別講座
 オンラインによる個別相談

各行事についての詳細は、
 各担当課にお問い合わせください。

- 就 就職指導課 shushoku.law@nihon-u.ac.jp
- 教 教務課 kyomu.law@nihon-u.ac.jp
- 学 学生課 gakusei.law@nihon-u.ac.jp
- 研 研究事務課 kenjimu.law@nihon-u.ac.jp
- 図 図書館事務課 tosho.law@nihon-u.ac.jp
- 入 入学センター nyugaku.law@nihon-u.ac.jp
- 入 庶務課 shomu.law@nihon-u.ac.jp

期間中の各イベントは、今後の新型コロナウイルス感染状況により変更となる場合があります。
 その際は法学部ホームページ、ポータルシステム等でお知らせします。

編集
 後記

今回は学生の皆さんが日常感じていることを調査すべく、法学部の全学生に向けてアンケートを実施しました。その結果、オンライン授業によって時間を有意義に使い、質の高い時間を過ごしている学生も多くいる一方、学生同士の自然な対話や友情を生み出す対面型授業の重要性も再認識しました。コロナ禍の収束が未だ見えない中、教職員の一人として、新しい授業形式を通じて学生の皆さんとどのようにコミュニケーションをとっていくのかをさらに検討し、授業の質の維持・向上に向け、これからも積極的に様々な取組みを行っていきたく考えています。

(「ジャーナル」編集長 法律学科教授 杉本 純子)



日本大学法学部

検索

<https://www.law.nihon-u.ac.jp>

本誌「JOURNAL」のバックナンバーは、法学部ホームページにてご覧いただけます。

2021年12月発行 日本大学法学部広報 通巻141号 発行:日本大学法学部企画・広報委員会



日本大学法学部
おだ つかさ
小田 司 法学部長

日本大学法学部の強みとは

日本大学法学部の最大の特長は「1学部の中に法律・政治経済・新聞・経営法・公共政策の5学科があること」だと、私は考えています。5つの学科を横断的に学べる、つまり専門的な学習に加えて、総合的な学修ができるということです。

総合的な学修は、実社会で必ず役に立ちますし、学びを深めるためにもとても良いことです。ただ、その利点があり伝わっていないこともあり、学生から「公務員を目指すから、公共政策学科を選択する」と聞くことがあります。もちろん、公共政策学科では、公務員試験への対応や就職など支援していますが、法律学科の卒業生が公務員になる割合も、少なくありません。そのような思い込みにとらわれず、ここでは

本当に学びたいことを学んでいただきたいのです。

法学部を専攻した学生が、ジャーナリズムを勉強しても良いですし、政治経済の学生が公務員になる道を選ぶこともできる、これこそが日本大学法学部の強みではないでしょうか。

法学部としての支援

2020年初頭より、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、日本、世界中が未曾有の事態に陥りました。教職員一同、皆さんの勉強の機会を失わないことを最優先に、どこでも学べ、できるだけ通学時と変わらない環境づくりを目指して努力してまいりました。

4月には大学への入構も禁止され、対面授業ができないとすぐに、若い先生方を中心に委員会を立ち上

げ、5月には完全にオンライン授業に移行しました。

これは日本大学のどの学部よりも早かったと記憶しています。何より早く決断をしたのは、感染症対策のため、完全に通学をしないということでした。月1回か2回でも通学が単位取得に必須という方式になると、地方の学生はその都度通学のために上京、もしくはアパートを借りておかなければなりません。そうなりますと、保護者の皆様のご負担も大変なことだと思ひ、授業は完全オンラインにすることを速やかに決定し、PCの貸与や補助費支給など、学部内で様々な支援を進めました。

オンラインを使った新時代へ

オンライン化が進んだことは、利点もあります。例えば、私は海外の大学関係者とオンラインで「会う」ことが増えました。通信環境さえ整ってれば世界中どこにいても参加できるので、学会などもオンラインを活用中です。

今後、全ての対面授業が再開されたとしても、オンラインでのコミュニケーションはなくならないでしょう。むしろ一つの手法として、ますます重要になると思います。

意識高く勉学に励む日法生

日本大学法学部の皆さんが、コロナ禍の制限中においても学びに意欲を持ち、資格取得などにも前向きに取り組み、その力を維持できていることを、私は誇りに思います。ですからもっと自信を持って学修してください。

皆さんに一つ提案があります。授業の時に、積極的に質問することです。授業の流れを止めてしまうかもなど遠慮は不要で、気にせず胸を張って質問すればいいのです。この積極的な経験が、社会に出た時に糧に

なります。

そして学部長オフィスアワーにもご参加ください。皆さんと対話できる機会は、私にとっても大切な時間です。

ずっとサポートいたします

今後は一日も早く今まで通りの学生生活ができるよう望んでいます。そうなれば皆さんには、サークル活動や法学部の特長でもある学生研究室などを大いに活用し、学生生活を謳歌していただきたいですね。勉強に精を出して、友人を作り、青春を過ごすことは大人になるための大切なステップだと思えますから。

私たち法学部は、コロナ禍においても、今後収束した後も、一生懸命皆さんをサポートしてまいります。それは卒業後も変わりません。

令和7年、3号館跡地に校舎を建設し、その最上階には皆さんが集える場所を企画しています。日本大学法学部の仲間として、いつでもこの校舎で交流できる日を楽しみにしております。

OFFICE HOUR

学部長オフィスアワー

日本大学法学部では、安心して学生生活を送るためのオフィスアワー制度を設けています。オフィスアワーとは直接教員と話ができる時間のこと。「学部長オフィスアワー」も開始しており、学部長室など(状況によってはオンライン方式)で、法学部長と対面できる貴重な機会です。希望日時を決め、希望日3日前までに、庶務課へメールにて予約いただき、実施となりましたら申込者に場所やURL等をお伝えしています。(ご相談内容など情報は守られますのでご安心ください)

【日本大学法学部】奨学金制度

日本大学法学部では、学業成績優秀者、経済的困窮者、国家試験合格を志す者等に対して、各種の奨学金を準備しています。また、学外機関ではありますが、貸与型奨学金の手続きも行っていきます。(学内の奨学金は全て給付型で、返済の必要はありません。)

✉ gakusei.law@nihon-u.ac.jp

日本大学法学部学生課
03-5275-8505



<https://www.law.nihon-u.ac.jp/life/scholarship.html>

【日本大学】奨学金制度

日本大学では、学生の皆さんが経済面でも安心して学修に取り組めるよう60種類を超える奨学金制度を設けており、給付型・貸与型総額は全国でもトップレベルにあります。

https://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/campuslife/fee_schol/



オンライン授業に伴う支援

パソコンの無償貸与

授業受講用のパソコンやタブレット端末を用意できない学生には、前学期に続きノートパソコンを無償で貸与。これまでに延べ568台を貸出しました。

学修環境補助費

オンライン受講用としてインターネットなどの学修環境を整えるための補助費を、全ての学生の皆さんに一律3万円支給しました。

オンライン授業サポートセンター

GoogleやZoomなどの使い方や不具合の質問等のための「オンライン授業サポートセンター」を、後学期も引き続き開設しています。

日法のサポート
いまを支える

みんなのいま、これから。

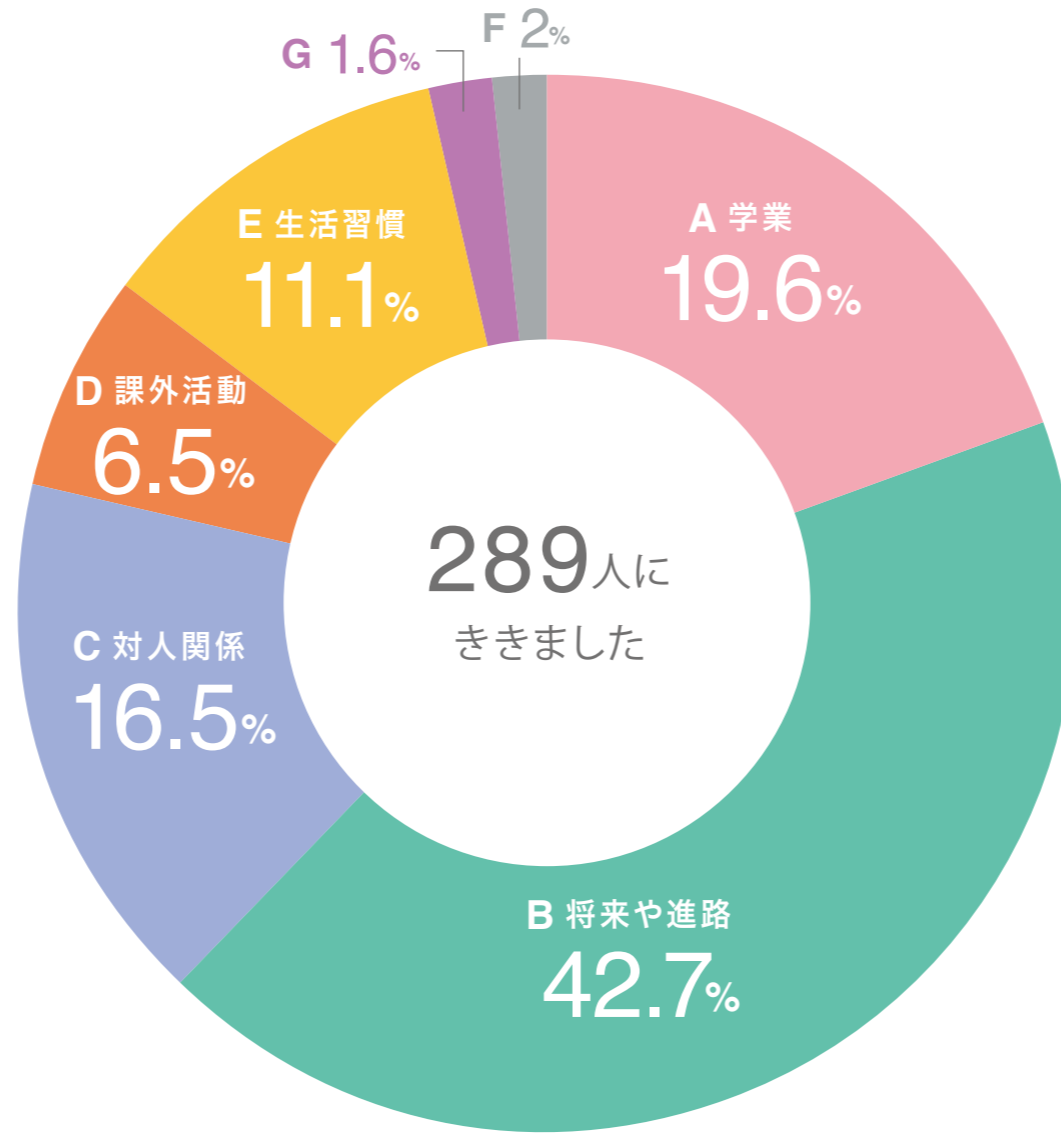
Q いちばん気になることは何ですか？

- A 学業
- B 将来や進路
- C 対人関係
- D 課外活動
- E 生活習慣
- F 今は特にない
- G その他

回答いただいた皆さん

| | |
|----|-----|
| 1年 | 98人 |
| 2年 | 84人 |
| 3年 | 56人 |
| 4年 | 51人 |

合計 289人 ご協力ありがとうございました！



Q 大学生活で取り組みたいことは何ですか？

時間を多くとっての読書や興味のある学問についての研究。
法律学科 2年

多くの職業について調べ、自分にあった仕事をみつけること。
政治経済学科 1年

殆ど大学で行うことが無く、何をしたらいいのかがいまいちわからない。
新聞学科 1年

言語習得に励みたいので、出来ることならば
交換留学などの制度を利用して、留学をしたい。
経営法学科 3年

スポーツ系のサークルに所属していることもあり参加ができていない。
できるような状況になったらいいなと思います。
経営法学科 2年

対面でのサークル活動を再開させたい。
公共政策学科 3年



この状況の中でも、将来を見据え、今何ができるか・何をしなければならぬかを意識して取り組んでいる学生も多くいることが、アンケート結果から得ることができています。

例えば、これまでの通学時間を、今までできていなかった語学習得や研究などのための学びの時間として活かし、有意義に学生生活を送っているという回答も寄せられました。

一方で、そのような中でも前向きな意見も多数回答があり、学部生の意識の高さが際立つ結果となっています。

Q 大学生活で取り組みたいことは何か

サークル活動の再開を挙げる方が多く、学生生活ならではの仲間と楽しむ時間や機会を増やしてほしいとの声が多数ありました。

また、コロナ禍という予想できない事態に「何をしたらよいかかわからない」「想像した学生生活ではない」という正直な声も届いています。

Q 大学生活で一番気になることは何か

「学業」「就職や進路」と回答した方が半数を超え、特に1年生と2年生の割合が高く、ほとんど通学できなかったこと、対面授業もほぼ受けられなかったことが要因として挙げられます。後学期は感染症対策を実施しながら通常の通学形式に戻しつつあります。

学生同士のコミュニケーションが図れるきっかけが増えれば、現在抱える不安・戸惑いの解消にも繋がると考えています。

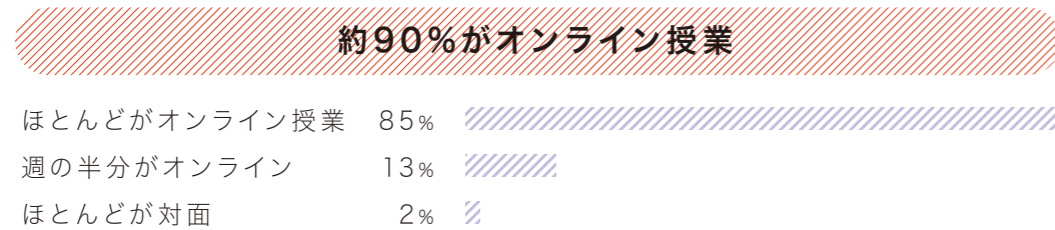
日本大学法学部では、コロナ禍においても学生の皆さんに安心して学修いただける環境づくりに努めてまいりました。日本大学法学部の取り組んできた教育の「今」を皆さんと共有することを目的とし、これからの学びや生活に活かしていただけるよう、学部生の皆さんに学生生活の実態、意識などについてアンケートを実施しました。

ここに2021年10月～11月までに集まった、約300名の回答をご報告いたします。

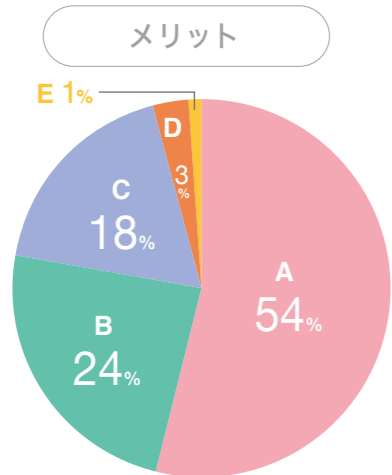
今回のアンケート結果で見えたコロナ禍での学びにおける課題について、今後も引き続き教職員が一丸となり、課題解決を図ってまいります。

オンライン・オフライン、これから。

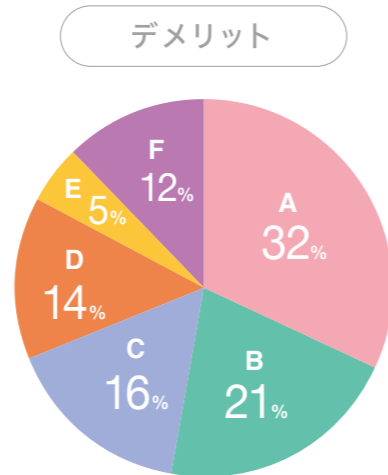
Q オンライン授業の割合



Q オンライン・オフラインのメリット/デメリット



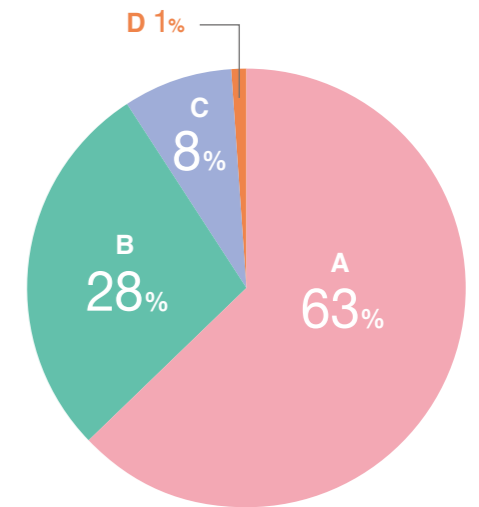
- A 自分のペースで学修できる
- B 対面より理解がしやすい
- C 場所を選ばない
- D 質問がしやすい
- E その他



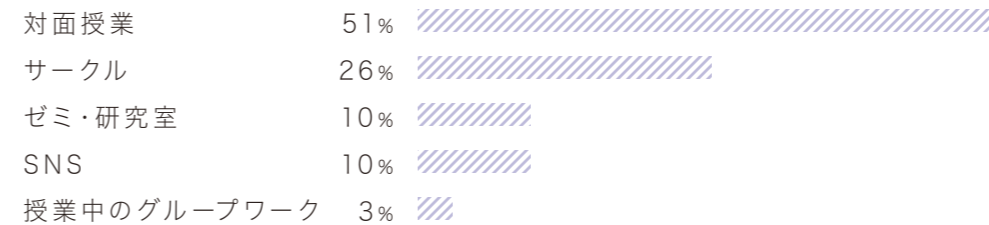
- A 質問がしづらい
- B インターネットが不安定
- C 理解が十分にできない
- D ペースがつかめずに学修しづらい
- E なし
- F その他

Q オンライン授業と対面授業、両方あればどちらを選びたいですか？

- A オンライン
- B 対面
- C 併用したい
- D その他



Q 友達を作るきっかけについて教えてください



ライブ授業形式の授業を受けている際のディスカッションなど。

自主創造の基礎で同じグループになった人や、サークルの仲間など。

グループワークで、初対面同士会話が弾みました。

コロナ禍でも毎週オンラインで活動していたサークルと、1年時に同じクラスだった人と2年時で初めて対面したことなど。



Q 友達づくりのきっかけ
 入学後通学できなくなった2年生、また今年入学した1年生は、実際に会えない中でのコミュニケーションで友達づくりも難しいところ、皆さんそれぞれに工夫を凝らし、SNSを使って交流している学生もいました。
 オンライン授業でも、ディスカッション等を取り入れ、学生同士のコミュニケーションをより図れる取り組みを行った結果、オンライン授業でも友人を作ることができたとの回答も多く見られました。

従来の対面授業ではできなかった新たなメリットについて、学生からは高い評価を得ていました。
 オンライン授業のデメリットとして、授業中に質問や理解がしづらいこと、また、インターネット環境にまつわるトラブルについても不安の声があがっていました。
 繰り返し講義を受講できるオンライン授業の向上のために改善を重ねております。
 またオンライン環境については、オンライン授業サポートセンターがありますので、ぜひ相談してください。

Q オンライン・オフラインのメリット/デメリットとは
 オンライン授業と対面授業が選べるならどちらが良いかとの質問には、60%以上がオンライン授業を選択しました。そして半数以上の方が、「自分のペースで学修できること」を、オンライン授業のメリットとして捉えているようです。
 現在のオンライン授業はZoomライブと、オンデマンド(講義動画配信)があり、教職員はそのコンテンツ作りにも注力しています。
 Zoomライブは双方向型であることから、質問もしやすいという点が好評です。またオンデマンドは、復習ができること、理解しづらい内容について繰り返し学べるなど、

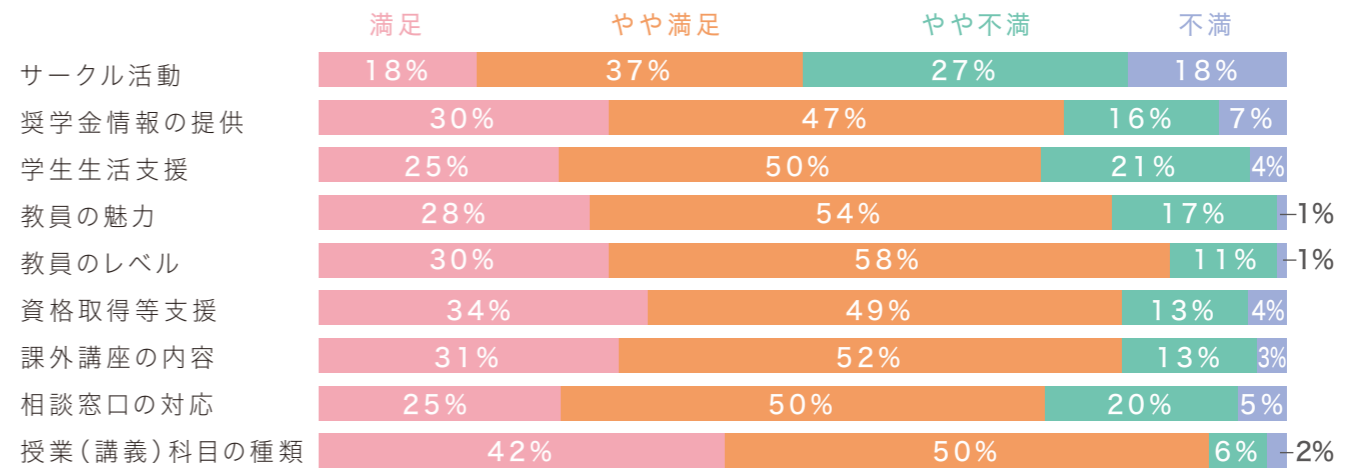
Q オンライン授業の割合は
 回答者の約85%が、ほとんどがオンライン授業だったと回答。前期の対面授業は、必要と認められた科目のみ、2限から4限に限定したことで、実施割合が全体の約35%でした。
 後学期からは、座席の間隔を空け、収容人数を抑制する感染防止対策を徹底した上で、「オンライン」、「オンライン授業と対面授業を交互に行うハイブリッド」及び「対面授業」を併用して実施しています。

支えるいま、これから。

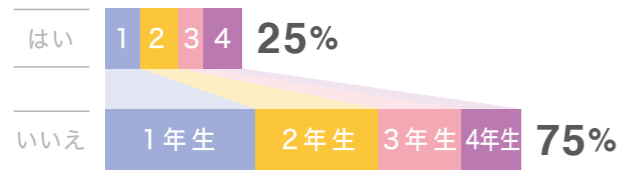
Q 相談窓口があることを知っていますか？



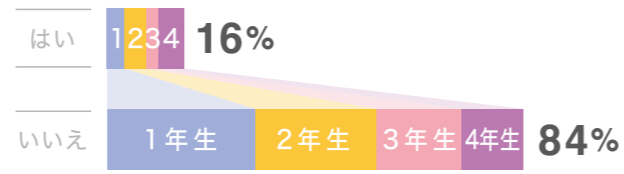
Q 大学の対応についてどう思いますか？



Q 相談しやすい教職員はいますか？



Q 相談窓口や教職員に相談したことはありますか？



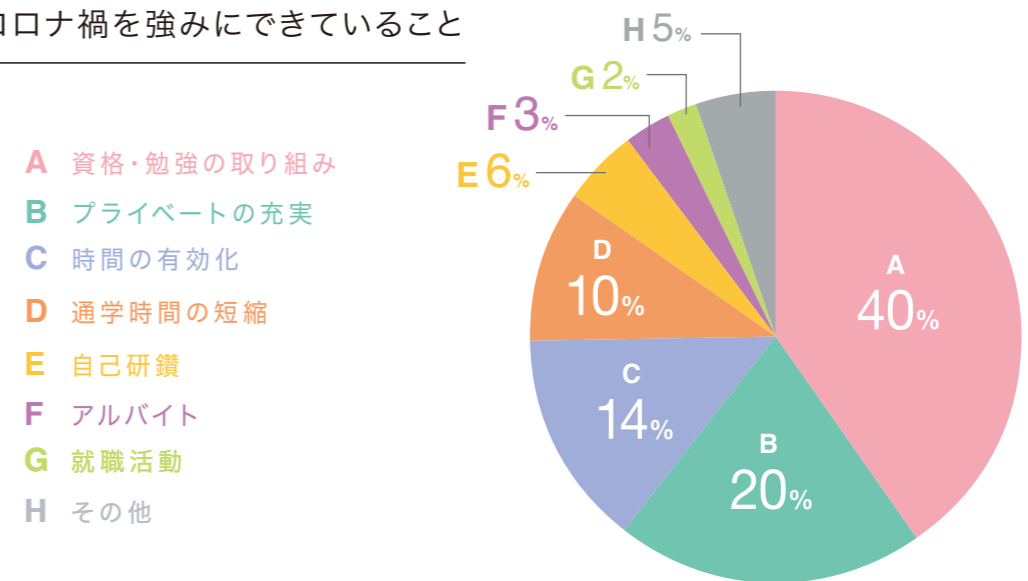
Q 相談窓口や教職員に相談してよかったですか？



Q 今後相談窓口や教職員に相談してみようと思いますか？



Q コロナ禍を強みにできていること



学生生活での悩みごとまずはコーディネーターに相談しよう

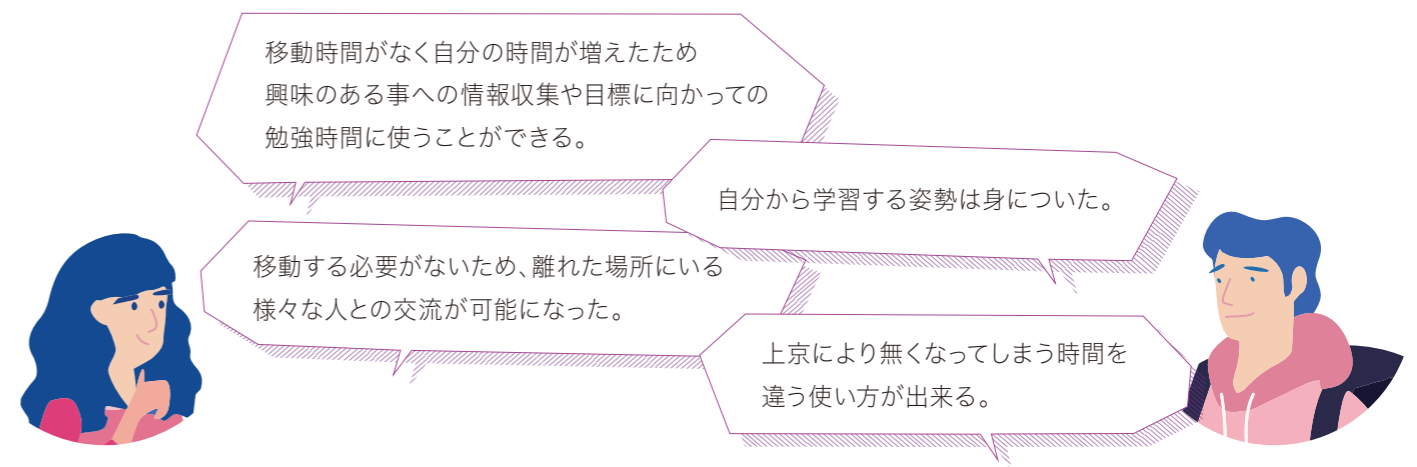
カウンセラーへの相談 (学生支援室)

🕒 平日 10:00~16:30
※土日祝休
☎ 03-5275-8548
✉ gakusei.law@nihon-u.ac.jp

法学部教員への相談受付

🕒 平日 9:00~17:00
土曜 9:00~12:00
※日祝休(授業実施時を除く)
☎ 03-5275-8505
✉ gakusei.law@nihon-u.ac.jp
(事前予約が必要です)

法学部では、学生の皆さんのさまざまな悩みをサポートする「学生支援窓口」を学生課に設置。どんな悩みでもまずは相談にきてください。皆さんの悩みに適した窓口を案内します。カウンセリング予約も受付けています。



わたしたちのリアル

オンライン就職活動



公共政策学科 2021年3月ご卒業
木村萌花さん「日本生命保険相互会社勤務」

私の就職活動を振り返ると、2020年からオンラインでの活動が中心でした。

オンラインでの就職活動の方法は、友人やインターネットなどから積極的に情報を収集し、自分なりに色々工夫をしていました。

例えば、オンライン時の背景には何も置かず、明るい場所を選んだり、顔色もよく見せられるよう意識し、また、面接では自分の長所がアピールできるように、しっかりと相手の目を見て話すことを心掛けていました。ただ、オンライン面接だとカメラばかり見てしまい、慣れるまでは戸惑っていたように思います。

私は人と関わったり話をする事などで、人との出会いがとても好きで、就職活動においてはその想いが「軸」でした。そして、それが叶う業界を目指していましたが、4年生の夏にコロナ禍を受けて業界自体が採用中止となってしまう、残念なことに就職先の変更が余儀なく

されました。

そんな中、所属していたサークルの先生のアドバイスがきっかけで就職指導課を訪れ、サポートを受けられたことは、私の就職活動の大きな支えになり、今でも感謝しています。

自分のやりたい想いや軸について相談し、それが他の職業でどのように実現できるのかを一緒に考えてもらえた結果、視野が広がり新しい就職活動にもチャレンジすることができました。

また、友人とLINEや電話、Zoomで頻繁に連絡を取り合い、お互いの悩みを相談し、実際に会って会話できなくても励まし合ったこともいい思い出です。

両親も就職活動を心から応援してくれていたことで、その応援に支えられ安心して活動を続けられることができ、より一層尊敬できる存在にもなりました。

入社を決めた勤務先は日本生命保険相互会社です。ここでは教育体制が整っている中で、先輩に指導を受けながら、最近はずっと一人でも動けるようになってきています。職場の環境には大変恵まれており、この会社に入社を決めて良かったと改めて感じています。

尊敬できる先輩方に囲まれているためか、今後、先輩が入ってきた時にはこういった先輩

になりたいな、この先輩の言うことから学んでいけば大丈夫、と思ってもらえるような、そんな頼れる先輩になるのが今の目標です。

今、就職活動をしている皆さんは情報収集をどうしたらいいかわからないと立ち止まることがあるかもしれません。そんな時は、就職指導課を訪ねると良いと思います。

一人で訪ねるのは少し不安だなと思われた

なら、友達と一緒に大丈夫です。とにかく自分から積極的に行動することで、きっと道は開けるはずですよ。

就職活動は、妥協せず最後まで諦めずにトライし続けることが大事だと思っています。

私もそうでしたが、自分が何をやりたいのかを見つめ直し、今できることを頑張ってもらいたいです。

就職指導課

年間を通じ、豊富で密度の濃いプログラムで、学生の就職活動を全面的にサポートしているのが就職指導課です。「就職相談」「求人情報の提供」「履歴書添削・面接対策」、求人情報や企業情報の検索ができる「NU就職ナビ」など、多彩な就職支援プログラムを、随時実施しています。

| 行事名 | 対象 | 概要 |
|-----------------------------------|-----|------------------------------------|
| 内定者による就職支援プログラム | 3年 | 4年生内定者からの就職活動の進め方等についての指導 |
| 就職指導課員による特別講座 | 全学年 | 必要に応じて、その都度有用な情報を提供 |
| オフィスアワー・相談ブースによる個別相談 | 全学年 | 職指導委員会および就職指導課による就職に関するあらゆる相談を実施 |
| ゲストスピーカーによるキャリア講座 (正規授業の一コマにて) | 全学年 | 特定の授業において、特別講師を招聘してキャリア等についての講演を実施 |

年間の就職支援行事情報は随時更新していますので、ホームページをご参照ください。
<https://www.law.nihon-u.ac.jp/employment/support.html>

就職支援についての詳細は、就職指導課にお問い合わせください。

(土曜日もOPENしています)

就職指導課(10号館2階)

✉ shushoku.law@nihon-u.ac.jp ☎ 平日9:00~18:00 土曜日9:00~13:00



令和3年度第43回法律討論会 日本大学法学部法学研究所主催

2021年10月30日開催

日本大学法学部伝統のイベント「第43回法律討論会」。本年度はYouTubeによる同時動画配信と併せて実施されました。

法学部長、校友会会長、審査員を務めていただいた日本大学法曹会の弁護士、裁判官、検察官の皆さまにご臨席賜り、また校友会、法曹会の皆さまにもご協力を得て、表彰式まで滞りなく進めることができました。

ソーシャルディスタンスが保たれた会場では、3名を1チームとした全6組が出場。4年生、3年生を中心に2年生も参加し、刑法に関する事例問題について熱い討論を交わしました。

立論者に対しては会場からだけでなく、Zoomで質問できるようにするなど、新たな取り組みも見どころの一つでした。

予備選考を勝ち上がったチーム戦だけあり、優劣つけがたいほどの接戦でしたが、第1位に第4組、第2位に第1組、第3位に第2組が表彰されました。

優秀質問賞には会場内で質問した1年生が選ばれ、来年度への期待も高まる討論会となりました。



現役弁護士から学ぶ法律科目 司法科研究室グループ指導ゼミ

2021年5月開催

司法科研究室は、法曹(裁判官・検察官・弁護士)を志す学生のために開設されています。司法試験予備試験、法科大学院入試、司法試験の合格を目指すカリキュラムを揃えるなど、法律科目の総合的な学修をサポートしています。

司法科研究室では答案練習会、グループ指導、合宿・法廷見学なども開催され、実践的なスキルの習得を目指す内容を展開しています。

1年生を対象としたグループ指導ゼミは年間を通じて実施しており、本学の司法課研究室指導員(グループ指導担当指導員)である、田原総合法律事務所・濱田左千子先生による講座が開かれています。濱田先生は現役の弁護士でもあり、法律基本科目全般を実践的にわかりやすく解説。90分間の講座は少人数制のメリットを活かし、先生と学生との積極的なやり取りを通じて、各々が主体的に授業に参加できています。オンライン講座も開講し、より参加しやすい環境が整いました。

司法科研究室では他にも、新入生向けの「入門講座」、「特別講義」など、様々な講座があります。



半年間で基礎から学べる 簿記(日商2級)講座

2021年4月開講

日本大学法学部では、会計分野講座の一つとして、簿記(日商2級)講座を開講しています。簿記は会社経営者には必須教養とまで言われている、重要なスキルの一つです。簿記を学ぶことで、数字を読み取る能力、お金の動きの見方や考え方が身に付き、仕事にはもちろん日常生活にも役立ちます。

この講座は、全学年を対象に簿記の基礎の基礎から始めるものです。基礎的な商業簿記原理及び記帳、決算等に関する初歩的実務から、高度な商業簿記と初歩的な原価計算を含む工業簿記など、ステップアップしながら学びます。検定直前には過去問題等を利用した解答練習を集中的に行い、講座開始から半年で日商2級の取得を目指していきます。

2021年度は11月21日の本試験に向けて4月からスタートし、3級の基礎・答練、2級の基礎・答練と進み、本試験に挑むスケジュールでした。本試験前の模擬試験では、オンラインも併用し、多数の受講生が挑みました。

講義では基礎教材のほか、試験直前対策用の問題集、過去問題集などを使用し、本番さながらの緊張感ある模擬試験も実施しました。

自宅からでも受講いただけるようオンラインの体制も整えて、資格習得をバックアップしていきます。

課外講座

各種資格の取得を目指す学生に向けて課外講座を開講しています。大学からの補助により、一般の半額以下の受講料と教材費(3,000円~70,000円程度)で受講することができます。

| | | | |
|---|---|---|--|
| 法律分野講座 司法試験講座※1 司法書士講座 社会保険労務士講座 行政書士講座 宅地建物取引士講座 | | 会計分野講座 公認会計士試験講座※2 税理士試験講座※3 簿記(日商2級)講座 ファイナンシャル・プランニング技能士(2級)講座 | |
| 情報分野講座 基本情報技術者講座 ITパスポート試験講座 | | 公務員講座 地方上級・国家一般職コース 警察官・消防官コース 入門コース | |
| 教員講座 教員採用試験対策講座 日経講座「ビジネスの基本」 | 就職対策講座 秘書技能検定(準1級、2級)講座 SPI3対策講座 | 語学分野講座 TOEIC課外講座 TOEFL課外講座 | |

※1 司法科研究室在籍者のみ受講可能 ※2 公認会計士科研究室在籍者のみ受講可能 ※3 税理士科研究室在籍者のみ受講可能

課外講座についての詳細は、司法科研究室・学生研究室にお問い合わせください。

司法科研究室・学生研究室

✉ shihouka2.law@nihon-u.ac.jp

<https://www.law.nihon-u.ac.jp/seminar/ec.html>



学生との対話を通じて
社会に役立つ人材を育む

私の専門は憲法学であり、今年度は、法律学科の専門科目の講義、他の学科の学生向けの講義、そして、ゼミナールを担当しています。昨年度はZoomを使ったライブ形式で、今年度は、教室での対面形式とYouTubeを通じたオンデマンド形式で、授業を行いました。教育活動において私が最も重視することは、対話です。ゼミでは、学生全員で議論することを大切にしています。また、大教室の講義でも、学生の能動的な学習のための場を設けるよう心がけています(例えば、昨年度の講義では、Zoomのブレイクアウトルームの機能を使用して、学生同士の小グループ討議を行いました)。

もって教育に従事することで、学ぶことの大切さを伝えていく必要があります。憲法の条文は70年以上、何も変わっていませんが、憲法研究者である私は、常に新しい問題に取り組んでいます。学生の皆さんは、ぜひ、大学での学習を通じて、物事を論理的に思考し、議論し、表現する力を身につけてください。そして、さまざまな形で社会に役立つ人材に育っていただきたいと願っています。必ずしもすべての人が社会の先導者にならなければならないというわけではありません。社会という木の、太い幹の部分になることも重要です。自分の適性を見きわめ、明確な目標を定め、それに向かって自ら努力できる学生をこれからも大切に育てていきたいと考えています。

法学部で生きる
ジャーナリズムとは

新聞学科は、英語にすると「ジャーナリズム・デパートメント」です。なぜその新聞学科が法学部の中にあるのか不思議に思う方も多いのではないのでしょうか。ジャーナリズム研究やメディア研究は学際的な学問であり、政治学や経済学、社会学などさまざまな学問領域を横断して成り立っています。例えば「政治コミュニケーション」では、社会問題や政治的な問題などが報道された時に、世論がどう変化しているか、政治にどういった影響を与えているか、というようなことを分析します。

これからは、対面とオンライン両方のコミュニケーション能力が必須になっていく時代です。今年度から対面授業も一部の講義でできるようになりました。対面授業は、やはりその場の空気感や、表情や手で表現するコミュニケーションで伝わるものが多いとあらためて感じています。一方でオンデマンドの授業は、いつでもどこでも、繰り返し学ぶことができますという、対面形式では得られないようなメリットがあります。そのメリットを最大限に活かせるように、教材にも工夫を凝らしています。皆さんが、対面・オンラインのどちらも最大限に使いこなすことができれば、今後の学びの大きな力になると思っています。



法律学科
ヤナセ ノボル
柳瀬 昇 教授

【専門分野】
憲法学
【研究分野】
民主主義論/司法制度論
【担当授業】
憲法I(人権)、憲法II(統治機構)、憲法A(人権)、
憲法B(統治機構)、ゼミナール



新聞学科
ミタニ フミエ
三谷 文栄 准教授

【専門分野】
政治コミュニケーション
【研究分野】
政治学/国際関係論/社会学
【担当授業】
マス・コミュニケーション論、政治コミュニケーション、ゼミナール

Treasures of NICHIGO
貴重な図書館蔵書の数々

No. 1

フーゴー・グロティウス
Hugo Grotius

1583 - 1645



オランダ出身の法学家。自然法にもとづく国際秩序の構築を基礎づけたことから、ヴィトリアなどと並んで「国際法の父」と呼ばれる。幼少のころから将来を嘱望されており、グロティウス自身もそれに応えるかたちで政治に関わった。オランダ期の著作として、同国の海洋権益を擁護し、航海の自由を論じた『自由海論』が有名である。その後、宗教紛争に巻き込まれ、1621年にフランスのパリへ亡命。同地で戦時国際法の体系書である『戦争と平和の法』を出版し、17-18世紀の自然法論に多大な影響を与えた。1645年、乗船した船が難破し、ロストックにて客死。

資料名: [Letter] le 7 de Julij 1640, a Paris / H. de Groot
形態: 1 sheet ([2] p.) ; 33 x 22 cm.
刻印: なし
封蝋: なし
ウォーターマーク: ユリ (Fleur-de-Lys)

解説:
グロティウスの1640年7月7日付の自筆書簡。フランス語で両面に本文が記載されている。ユリ(Fleur-de-Lys)のウォーターマークあり。書簡は、非公式な形式で書かれており、30年戦争をもっぱら扱っている。グロティウスは、ある政治問題に関する自分の意見や、軍事作戦について書いている。書簡は、受取人からグロティウスへ先に送られたラテン語の本への感謝の言葉で始まっている。続いてグロティウスは、バンナー元帥(重要なスウェーデン人元帥で、当時、ボヘミアへ進軍していた)の現在の所在について関心を寄せている。二伸においては、アラス(Arras)へ派遣された大部隊に関する言及がある。アラス包囲攻撃は、1640年8月8日、アラス降伏によってフランス軍の成功裡に終わった。

